

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2005-152222(P2005-152222A)

【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2003-393973(P2003-393973)

【国際特許分類】

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 X

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

測定結果を表示し得る表示手段と、被検者の痛みの大きさに対応して変位させることができる操作部材を備える操作手段と、前記操作部材の変位量に応じて、痛みの大きさを定量化する演算部と、

痛みの大きさに応じた複数のパターンのシンボル画像を生成するためのデータを記憶する記憶手段とを有し、前記表示手段は、前記操作部材の変位量に応じて、痛みの大きさを定量化して表示するとともに、前記記憶手段に記憶されたデータに基づいて生成された痛みの大きさに対応するシンボル画像を表示するよう構成されていることを特徴とする痛み測定器。

【請求項2】

前記操作手段は、痛みの大きさを示すスケールと、前記スケールに沿って移動する操作部材とを備える請求項1に記載の痛み測定器。

【請求項3】

前記操作部材の連続的な変位に応じ、前記シンボル画像が視覚上連続的に変化するよう構成されている請求項1または2に記載の痛み測定器。